

普及項目	担い手
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	八代海

## 魚類養殖体験教室による担い手確保の取組み

天草広域本部水産課・阿部 慎一郎

### 【背景・目的・目標（指標）】

天草地区は水産業が基幹産業であり、特に魚類養殖業が盛んであるが、他地区と同様に漁業の担い手不足が課題となっている。そのため、天草地区漁業士会では活動の一環として後継者育成の取組みを推進している。

そこで、地区の基幹産業である魚類養殖業について、地元高校生の理解と関心を高め、卒業後の就職先の候補として関心を持たせることを目的に、魚類養殖業を営んでいる漁業者による職業講話と体験教室を実施した

なお、本年度は、魚類養殖体験教室に参加した生徒のうち、50%が水産業への就職について関心を持つことを目標とした。

### 【普及の内容・特徴】

日時：令和2年（2020年）10月12日

場所：熊本県上天草市大道地先のマダイ養殖場及び熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所

参加者：熊本県立天草高校倉岳校1年生8名、同校教諭3名、漁業士2名、熊本県海水養殖組合職員2名、水産課1名

マダイ養殖場において、漁業士の指導のもと給餌体験や近隣の生簀で行われていたマダイの出荷作業を見学した。その後、熊本県海水養殖漁業協同組合栖本事業所に移動し、組合職員の案内で高度衛生管理加工施設等の見学及びマダイの神経締め等の作業体験、漁業士から仕事内容や仕事に対する考え方等の職業講話を行った。

また、体験教室による水産業への就職に関する意識の変化を確認するため、体験教室実施の前後でアンケート調査を行った。

なお、水産課は漁業士会事務局として、本取組みに係る実施内容及び関係者との調整について、助言・指導を行った。

### 【成果・活用】

教室開催前に実施したアンケート調査では、水産業への就職について「やや関心がある」と回答した生徒は37%だったのに対して、「どちらでもない」「やや関心がない」「まったく関心がない」と回答した生徒は63%であり、水産業への就職の関心は低かった。

一方、教室開催後に実施したアンケート調査では、水産業への就職について「やや関心がある」と回答した生徒は86%と開催前より上昇していたのに対して、「どちらでもない」と回答した生徒は14%、「やや関心がない」「まったく関心がない」と回答した生徒はゼロであり、体験教室の実施により、水産業への就職について関心を高めることができた。

今後も、本取組みへの助言・指導を継続するとともに、就業希望者を対象とした研修事業の受け入れ態勢を整備するなどして、漁業の担い手確保につなげたい。

### 【達成度自己評価】

5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）



写真 魚類養殖体験教室の実施状況

a : 体験教室に係る注意事項等の説明

b : 養殖魚への給餌体験

c : マダイの出荷作業の見学

d : 高度衛生管理加工施設等の見学

e : マダイの神経締め等の作業体験

f : 漁業士による職業講話